



19 発字建第 86 号  
平成 19 年 4 月 27 日

国土交通省道路局長殿

宇多津町長 谷川 実



### 中期的な計画の作成にあたっての意見について

拝啓 時下ますますご清祥の段、お慶び申し上げます。

平素は、宇多津町の運営につきまして、格別のお力添えを賜り厚くお礼申し上げます。

さて、中期的な計画の作成にあたっての意見徴集につきまして、下記の通り 2 つの施策について、意見を提出いたします。

#### 記

##### 1. 高齢化社会に対応した道路整備を。

高齢者が外に出て活動しやすいまちづくり(道路整備)を進めて欲しい。そうすることにより、「健康な高齢者」を増大させることができる。このことにより、社会保障費の削減ができるとともに、健康な高齢者の活動自身ももたらす経済波及効果も極めて高くなる。

##### 2. 地震などの災害に備えての道路整備を

今後 30 年以内に 50% の確立で起きるとされている南海・東南海地震などに備え、緊急輸送道路などの整備を進めて欲しい。

また、阪神淡路大震災では、道路幅員が狭い道路において建築物等の倒壊により道路が通行不能となり、救助・救急活動、消防活動、避難活動等の支障となりました。そこで、市町が必要とする緊急避難路及び救急・消防活動の道路を確保するための施策を進めて欲しい。